大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F135210110070	設置等組織名	国際文化学部情報社会学科
大学名	山口県立大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	山口	事業計画名	地域社会の未来をリデザインし、人々の暮らしのDX 推進に貢献できる人材を養成する文理融合型の情報社会学科を新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-① 令和5年9月～ 新学科設置の書類の準備 1-② 令和5年9月～ 3つのポリシーとアセスメントポリシー並びにカリキュラムの構築 1-③ 令和5年9月～ 新学科の入学者選抜方法の検討 1-④ 令和5年9月～ 県内の高等学校等ならびに地域へ情報発信・広報 1-⑤ 令和5年9月～ パートナー企業等及び地域が求める人材育成ワーキンググループとの協議 1-⑥ 令和5年9月～ 新学科のニーズ、求める人材像に関する調査（高校生、保護者、企業等） 1-⑦ 令和5年9月～ 高大接続事業（高校生向け講座開設、ジュニアリサーチセッション開催）の実施 1-⑧ 令和5年10月～ 大学間連携を活用した新学科科目の試行と検証 1-⑨ 令和5年10月～ 教育内容の充実のためのFD実施（R5.11.8承認） 1-⑩ 令和5年10月～ 教育環境の充実のための先進事例視察（R5.11.8承認） 1-⑪ 令和6年3月～ 新学科設置に係る教育環境整備・検討（R6.3.29承認）	1-① 令和5年9月～ 新学科設置の書類の準備（～３月） 1-② 令和5年9月～ 3つのポリシーとアセスメントポリシー並びにカリキュラムの構築（～３月） 1-③ 令和5年9月～ 新学科の入学者選抜方法の検討（～３月） 1-④ 令和5年9月～ 県内の高等学校等ならびに地域へ情報発信・広報（～３月） 1-⑤ 令和5年9月～ パートナー企業等及び地域が求める人材育成ワーキンググループとの協議（～３月） 1-⑥ 令和5年9月～ 新学科のニーズ、求める人材像に関する調査（高校生、保護者、企業等）（～３月） 1-⑦ 令和5年9月～ 高大接続事業（高校生向け講座開設、ジュニアリサーチセッション開催）の実施(～３月） 1-⑧ 令和5年10月～ 大学間連携を活用した新学科科目の試行と検証（～３月） 1-⑨ 令和5年10月～ 教育内容の充実のためのFD実施(～３月） 1-⑩ 令和5年10月～ 教育環境の充実のための先進事例視察(～３月） 1-⑪ 令和6年3月～ 新学科設置に係る教育環境整備・検討(～３月）	令和5年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	1-④ 令和6年4月～ 県内の高等学校等ならびに地域へ情報発信・広報（R5.11.8承認） 1-⑤ 令和6年4月～ パートナー企業等及び地域が求める人材育成ワーキンググループとの協議（R5.11.8承認） 1-⑧ 令和6年4月～ 大学間連携を活用した新学科科目の試行と検証（R5.11.8承認） 1-⑨ 令和6年4月～ 教育内容の充実のためのFD実施（R5.11.8承認） 1-⑩ 令和6年4月～ 教育環境の充実のための先進事例視察（R5.11.8承認） 1-⑪ 令和6年4月～ 新学科設置に係る教育環境整備・検討（R6.3.29承認） 2-① 令和6年6月～ 新学科実施のための教育環境（教室・自習室及び機器等、メタバース教育環境）の整備	1-④ 令和6年4月～ 県内の高等学校等ならびに地域へ情報発信・広報(～３月） 1-⑤ 令和6年4月～ パートナー企業等及び地域が求める人材育成ワーキンググループとの協議(～３月） 1-⑧ 令和6年4月～ 大学間連携を活用した新学科科目の試行と検証(～３月） 1-⑨ 令和6年4月～ 教育内容の充実のためのFD実施(～３月） 1-⑩ 令和6年4月～ 教育環境の充実のための先進事例視察(～３月） 1-⑪ 令和6年4月～ 新学科設置に係る教育環境整備・検討(～３月） 2-① 令和6年6月～ 新学科実施のための教育環境（教室・自習室及び機器等、メタバース教育環境）の整備(～３月）	令和6年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	2-① 令和7年4月～ 新学科実施のための教育環境（教室・自習室及び機器等、メタバース教育環境）の整備 3-① 令和7年4月～ 新学科の運営並びに教育プログラムの運用の開始 3-② 令和7年4月～ 新学科実施のための教育環境（施設・設備）の活用 3-③ 令和7年4月～ 大学間連携を活用した新学科科目の実施と検証 3-④ 令和7年4月～ 高大接続事業（高校生向け講座開設、ジュニアリサーチセッション開催）の実施と さらなる取り組み（高校生向け先取り履修制度の導入等）の検討 3-⑤ 令和7年4月～ パートナー企業等及び地域が求める人材育成ワーキンググループとの協議 3-⑥ 令和7年4月～ 県内の高等学校等ならびに地域へ情報発信・広報 3-⑦ 令和7年4月～ 教育DX・PBL の推進に向けたFD 研修の実施 3-⑧ 令和7年4月～ 新学科の効果・影響の調査に係る準備と実施	2-① 令和7年4月～ 新学科実施のための教育環境（教室・自習室及び機器等、メタバース教育環境）の整備(～３月） 3-① 令和7年4月～ 学科の運営並びに教育プログラムの運用(～３月） 3-② 令和7年4月～ 新学科実施のための教育環境（施設・設備）の活用(～３月） 3-③ 令和7年4月～ 大学間連携を活用した新学科科目の実施と検証(～３月） 3-④ 令和7年4月～ 高大接続事業（高校生向け講座開設、ジュニアリサーチセッション開催）の実施と さらなる取り組み（高校生向け先取り履修制度の導入等）の検討(～３月） 3-⑤ 令和7年4月～ パートナー企業等及び地域が求める人材育成ワーキンググループとの協議(～３月） 3-⑥ 令和7年4月～ 県内の高等学校等ならびに地域へ情報発信・広報(～３月） 3-⑦ 令和7年4月～ 教育DX・PBL の推進に向けたFD 研修の実施(～３月） 3-⑧ 令和7年4月～ 新学科の効果・影響の調査に係る準備と実施(～３月）	令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	2-① 令和8年4月～ 新学科実施のための教育環境（教室・自習室及び機器等、メタバース教育環境）の整備 3-① 令和8年4月～ 新学科の運営並びに教育プログラムの運用の開始 3-② 令和8年4月～ 新学科実施のための教育環境（施設・設備）の活用 3-③ 令和8年4月～ 大学間連携を活用した新学科科目の実施と検証 3-④ 令和8年4月～ 高大接続事業（高校生向け講座開設、ジュニアリサーチセッション開催）の実施と さらなる取り組み（高校生向け先取り履修制度の導入等）の検討 3-⑤ 令和8年4月～ パートナー企業等及び地域が求める人材育成ワーキンググループとの協議 3-⑥ 令和8年4月～ 県内の高等学校等ならびに地域へ情報発信・広報 3-⑦ 令和8年4月～ 教育DX・PBL の推進に向けたFD 研修の実施 3-⑧ 令和8年4月～ 新学科の効果・影響の調査に係る準備と実施		令和8年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和6年4月 国際文化学部情報社会学科（入学定員40人）新設学則変更届出予定 令和6年4月 収容定員の変更（総入学定員5人増、総収容定員20人増）学則変更届出予定	令和6年4月 国際文化学部情報社会学科（入学定員40人）新設学則変更届出 提出済 令和6年4月 収容定員の変更（総入学定員5人増、総収容定員20人増）学則変更届出 提出済	
定員減又は 学部等の廃止	令和6年4月 国際文化学部国際文化学科12人減員に関する学則変更届出予定（入学定員50人） 令和6年4月 国際文化学部文化創造学科7人減員に関する学則変更届出予定（入学定員45人） 令和6年4月 社会福祉学部社会福祉学科16人減員に関する学則変更届出予定（入学定員87人）	令和7年4月 収容定員の変更（総入学定員5人増、総収容定員20人増） ※国際文化学部国際文化学科減員 （入学定員50人、文学関係） ※国際文化学部文化創造学科減員 （入学定員45人、文学関係） ※社会福祉学部社会福祉学学科減員（入学定員87人、社会学・社会福祉学関係）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	山口県立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
県内の企業や自治体等と連携したPBLを実施するしくみは既に整備済みであり、正課と課外教育として多くのPBLを実施してきた。今後は、フェーズ１期間において、特に新学科の新領域に特化したパートナー企業等との連携とマッチング機能をさらに強化して、文理融合型でDX を活用したPBL案件の成立を増加・維持する計画である。実際、令和5年度に国際文化学部の正課科目において県内の企業や自治体等と連携したDXによる課題解決（PBL）を6件実施する予定であり、フェーズ2期間での件数の増加と質的向上を目指して、連携企業数や内容を詰める計画である。 また、「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」において、山口大学と山口学芸大学と連携して連携開設科目の開設を推進する計画である。令和5年度には、既に、「地域学」「DX概論」等の科目の相互提供の実施を開始すると共に、学年暦・授業時間や学習管理システム等の大学間調整を開始しており、今後さらに教育連携の仕組み・体制を整備する予定である。	企業や自治体と連携した科目（PBL等）について、山口県内の企業及び商工会議所等の団体と連携した「DXによる課題解決（PBL）」を15件実施した。実施に際しては、コーディネーター及び担当教員が企業等を何度も訪問し、PBLの内容やレベルについて調整した上で、契約書等を締結して実施している。また、令和７年度中に令和８年度に実施するPBLの検討を開始し、コーディネーターと担当教員が企業・行政・団体等を訪問して調整した結果、令和８年度の実施予定数は13件となっている。 令和８年２月には、「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」を構成する本学、山口大学及び山口学芸大学と合同で、連携先の企業・団体、PBLに取り組んだ学生、今後PBL活動に参加する予定の1年次の学生及び活動を支援した教職員等が参加する「DXによるPBL合同発表会」を開催した。 「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」を校正する本学、山口大学及び山口学芸大学の３大学が連携して実施する連携開設科目について、令和７年度は地域学、データ科学と社会Ⅰ及びⅡ、知的財産入門、データ科学のための基礎数学、地域文化論の計6科目をを実施した。なお、令和6年度からは3大学の授業開始時間、学年暦を統一して実施している。 このほか、連携開設科目の実施に際しては、3大学で構成する連携教育プログラム委員会で定期的に意見交換を行い、随時改善を図っている。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
□ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
多様な入学者を確保するため、総合型選抜方式による入学者選抜を新規導入するとともに、一般選抜の科目を従来の国際文化学部から見直す予定である。さらに、入学前教育の充実・強化を実施する計画である。そのために、フェーズ１期間において、県内地域の高等学校等への説明会を実施し、受験生への影響が発生しないよう努める。なお、国際文化学部の女子学生比率が83.9%（令和5年度）と高く、女子学生確保は十分に見込まれる。今後は高大連携推進室を中心に、県内の高等学校等とのさらなる連携強化（出前授業、高校生と大学生が共に学び合う講座の実施、高校生向け先取り履修制度の導入、附属高校の設置等を含む）の検討を実施する予定である。 女子学生が情報系・工学系の領域に興味関心をもつよう、また、社会人がいつでもどこからでもリスキリング教育にアクセスしやすいよう、メタバース教育空間を導入・整備する。 新学科の数理データサイエンス、AI、DXに関する授業のほか、大学院で夜間開講している情報系科目を活用して、社会人のリカレント・リスキリングに対応する。	多様な入学者を確保するため、令和7年度入試（令和6年度実施）から、総合型選抜方式による入学者選抜を導入した他、一般選抜についても科目の見直しを行った。入学前教育について、令和7年度から国際文化学部の入学者を対象に新たに数学の入学前教育を実施している。 情報社会学科について、令和7年7月及び8月に開催したオープンキャンパスで高校生や保護者に周知した他、山口県内の全ての高校及び近県の高校を訪問し、オンラインも含めて延べ176校を対象に入試広報を実施した。 県内高校との連携強化について、出前授業を通した学科説明、高校生と大学生が学び合う高大接続講座等を実施した他、令和8年度から「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」を構成する本学、山口大学及び山口学芸大学の３大学が連携して高校生向け先取り履修を実施することとなった。 令和5年度に設置した高大接続推進室を中心として協議をし、令和8年度から大学の附属高校を設置することとなった。 令和7年3月にメタバース教育空間を導入し、令和7年度はオープンキャンパスや高大接続事業、授業科目「AI構築演習」等で活用し、今後の学内外での活用に向けたノウハウの蓄積に努めた。 社会人向けのリカレント教育プログラムについて、令和８年度から「一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム」を構成する本学、山口大学及び山口学芸大学の３大学が連携して実施することとなった。	

大学名	山口県立大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	既存学部における学科の新設
学部学科名	国際文化学部情報社会学科（文学関係、工学関係）

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定	届出	開設																
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人			40	40															
		編入学定員	人			-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	40	40															
		入学者数	人	-	-	44	45															
		女子学生数	人	-	-	21	25															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	40	40															
		入学者数(B)	人	-	-	44	45															
		女子学生数	人	-	-	21	25															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	1.10	1.13															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	40	80															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	44	89															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	1.10	1.11															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	4	8															
		授業科目の単位数	単位	-	-	8	30															

大学名	山口県立大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	40	40															
		入学者数	人	-	-	44	45															
		女子学生数	人	-	-	21	25															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	40	40															
		入学者数(B)	人	-	-	44	45															
		女子学生数	人	-	-	21	25															
		社会人学生数	人	-	-	0	0															
		留学生数	人	-	-	0	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	1.10	1.13															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	40	80															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	44	89															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	1.10	1.11															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	4	8															
		授業科目の単位数	単位	-	-	8	30															

大学名	山口県立大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	314	314	319	319															
		入学者数	人	323	333	337	340															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	314	314	319	319															
		入学者数(B)	人	323	333	337	340															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.03	1.06	1.06	1.07															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,256	1,256	1,260	1,266															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	1,314	1,310	1,339	1,352															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.04	1.06	1.07															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定		開設											
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	17,950	30,813	77,394	66,691	87,395	76,719	56,103	77,979											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	58,299
本事業による助成金の額(F)	千円	153,915
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	62,147

特記事項